

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回  
覧

--	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 251 (通算 576 回)

2013 年 12 月 11 日 (水)

教学・経営情報のデータ・リテラシー —

# EM・IRシステムの構築と機能強化策

高等教育活性化シリーズ 254/255 (通算 579/580 回)

2013 年 12 月 19 日 (木) & 26 日 (木)

IT 環境での少人数ゼミナール —

大阪、東京で開催!

# 教学IRデータ分析の基礎研修による人材育成

教学・経営情報のデータ・リテラシー —

## EM・IRシステムの構築と機能強化策

～ PDCA サイクルの実質化/意思決定支援 ～

- ※ IRとEM/米国の事例/日本の動向/山形大学の取組み/戦略的計画へのIRのビルトイン
- ※ データサイエンスの活用リテラシー/データ作成とその分析例/実施の留意事項
- ※ [関東学院大] 教学データ活用/ワーキンググループ設置/休退学・就職・成績要因分析/情報活用術
- ※ [國學院大] 情報資産への付加価値/業務改善への取組み/ビッグデータ推進プロジェクト/真の意義

### ● 講師陣 ●

福島 真司 氏 / 山形大学 エンrollment・マネジメント部 教授  
大原 佳子 氏 / 三菱総研 DCS (株) 事業推進企画部 データサイエンスグループ 課長  
小山 巖也 氏 / 関東学院大学 学生生活部長 経済学部 教授  
篠田 隆行 氏 / 國學院大學 財務部経理課 課長

2013 年 12 月 11 日 (水) 日本教育会館 (東京・神保町)

IT 環境での少人数ゼミナール —

大阪、東京で開催!

# 教学IRデータ分析の基礎研修による人材育成

～ 大学内の多種多様な教学データ/分析に必要な基本的手法の習得 ～

- ※ IR機能への要求/データの捉え方と分析基礎/多種多様なデータへのアプローチ
- ※ データの取扱いと加工方法の習得/基礎的なデータ分析手法とその体得
- ※ 代表的な関数使用方法の習得/データの結合と検索/演習問題によるワークショップ

### ● 講師 ●

越山 恵子 氏 / 三菱総研 DCS (株) 事業推進企画部 データサイエンスグループ

2013 年 12 月 19 日 (木) PC カレッジ 東梅田校 (大阪・東梅田)

12 月 26 日 (木) 東海大学 代々木キャンパス (東京・代々木)

企画協力 **三菱総研 DCS 株式会社**



地域科学研究会 高等教育情報センター

[ 参加要領 ]

■高等教育活性化シリーズ 251 EM・IRシステムの構築と機能強化策

日時：2013年12月11日(水) 9:50~16:40

会場：日本教育会館(東京・神保町) 千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833  
(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」A1出口より徒歩3分)

■高等教育活性化シリーズ 254/255 教学IRデータ分析の基礎研修による人材育成

日時：〔大阪会場〕2013年12月19日(木)／〔東京会場〕2013年12月26日(木)／10:00~16:50

会場：〔大阪会場〕PCカレッジ(東梅田校) 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 2F TEL 06-6363-6771  
(JR大阪駅・阪急梅田駅、地下鉄東梅田駅より徒歩10分)

〔東京会場〕東海大学代々木キャンパス 東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)  
(小田急線「代々木八幡」駅または「代々木上原」駅より徒歩10分)

参加資格：統計に関する基礎的知識、及び Windows、Microsoft Excel の基本操作の必要があります。  
詳細は、4枚目のプログラムの下段をご参照いただくか、不明な点はお問合せください。

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
高等教育活性化シリーズ 251 EM・IRシステムの構築と機能強化策	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 254/255 教学IRデータ分析の基礎研修による人材育成	70,000 円 (消費税込)	

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。

※開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。

※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または Email にてご送付ください。

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660

口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

☆ 同人組織としての「高等教育計画経営研究所」を創設、KKJ の URL にてご覧ください。

お申込み・お問合せ



地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2013年 月 日

■高等教育活性化シリーズ 251

EM・IRシステムの構築と機能強化策

■高等教育活性化シリーズ 254/255

教学IRデータ分析の基礎研修による人材育成

(□に✓印を入れてください)

当日参加  メディア参加

当日参加/大阪会場  当日参加/東京会場

支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替

必要書類  請求書  見積書

勤務先

〒

所在地

連絡部課・担当者名

メールアドレス

TEL

FAX

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:50 ~ 11:20	<p>□ 科学的マーケティング手法による大学マネジメント・サイクルの持続的発展 ～山形大学 EM 部の「学生を知り抜く」挑戦を踏まえて～ 山形大学 福島 真司</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>IR (Institutional Research) と EM (Enrollment Management)             <ol style="list-style-type: none"> <li>EM は科学的マーケティング手法</li> <li>データによる大学マネジメント</li> </ol> </li> <li>米国の EM・IR の事例             <ol style="list-style-type: none"> <li>RHIT の事例</li> <li>米国における IR の歴史とトレンド</li> <li>今後の IR の課題</li> </ol> </li> <li>日本における IR の現状と課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>IR の日米比較</li> <li>IR のあり方</li> </ol> </li> <li>山形大学における IR の基本思想と取り組み             <ol style="list-style-type: none"> <li>沿革</li> <li>学生を知り抜くこと</li> <li>総合的的学生情報データ分析システムの構築</li> <li>全学統合型 IR システムの構築に向けて</li> </ol> </li> <li>IR から戦略的計画へ             <ol style="list-style-type: none"> <li>マーケティングの新潮流</li> <li>大学マネジメントにいかに関 IR をビルトインするか</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30 ~ 12:50	<p>□ 大学経営におけるデータサイエンス活用の実際 ～教学横断データ活用による「学生動向要因分析」と改善施策の PDCA～ 三菱総研 DCS 大原 佳子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大学経営の課題解決への科学的分析活用             <ol style="list-style-type: none"> <li>大学全体の課題の整理と IR の位置づけ</li> <li>データサイエンスを学生への総合支援に適用</li> <li>教学横断データに関して</li> </ol> </li> <li>学生動向要因分析             <ol style="list-style-type: none"> <li>教学横断データ作成方法</li> <li>分析の進め方</li> <li>分析例 (キャリア支援、退学予防分析)</li> </ol> </li> <li>データ活用プロジェクト実施にあたり             <ol style="list-style-type: none"> <li>ビジョン・理念の明確化</li> <li>プロジェクト実施の留意事項</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:50 ~ 15:10	<p>□ [関東学院大] 教学データ活用のワーキンググループ設置と情報活用の実際 ～学生の面倒見のよい大学になることを目的とした情報活用術～ 関東学院大学 小山 巖也</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学生動向要因分析ワーキンググループの概要             <ol style="list-style-type: none"> <li>WG 設置の経緯</li> <li>メンバーの構成</li> <li>三菱総研 DCS 社との共同研究</li> </ol> </li> <li>学生動向要因分析の内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>休・退学要因分析</li> <li>就職要因分析</li> <li>成績要因分析</li> </ol> </li> <li>情報活用事例の紹介             <ol style="list-style-type: none"> <li>成績不振者面談への活用</li> <li>キャリアセンターでの活用</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:20 ~ 16:40	<p>□ [國學院大] 情報資産への付加価値創造と業務改善に向けた取り組み事例 ～全部署横断プロジェクトによる大学活性化へのプロセス～ 國學院大學 篠田 隆行</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「データサイエンス業務構築プロジェクト」から「ビッグデータ推進プロジェクト」へ             <ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト設置の背景</li> <li>「IR」定義の特徴</li> <li>ボトムアップ型・全部署横断型プロジェクト (コミュニケーションの場として)</li> <li>改善に向けた業務内容の俯瞰</li> </ol> </li> <li>情報資産活用システムの構築に向けたフロー             <ol style="list-style-type: none"> <li>情報資産状況の把握</li> <li>組織文化や風土の認識共有 (IR に対するあり方検討を踏まえて)</li> <li>発想の視野拡大を意図したプロジェクト目的の明確化と不明確化</li> <li>実践事例 (各種分析から企画への発展事例)</li> </ol> </li> <li>ビッグデータの活用と業務改善             <ol style="list-style-type: none"> <li>データ活用範囲の可能性</li> <li>データの真実とマジック</li> <li>業務改善への道筋</li> <li>IR システム構築の真の意義</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
10:00 }	1. 教学 I R データ分析の概要 (1) 大学の I R 機能への要求 (2) 多種多様なデータ
10:30 }	2. 統計概論 (1) 統計とは? (2) 統計学の考え方 (3) データの中身の検討
10:30 }	3. データ分析の基礎を学ぶ～扱うデータの捉え方 (1) 代表値 (平均・中央値・分散・標準偏差・幾何平均) の算出 (2) 度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図 (3) 標準化、偏差値
11:30 }	4. データ加工方法を習得する～データの取扱い方 (1) 欠損値、異常値の取扱い (2) 代表値の算出
13:30 }	(3) ピボットテーブル操作方法 (集計・抽出・分類・並び替え) (4) グラフ作成
14:20	(5) 条件付けのデータ項目追加方法 (ランク分け・グループ化)
14:30 }	5. 基礎的な分析手法を体得する～データ分析 (1) A B C 分析 (2) Z チャートによる推移分析 (3) レーダーチャート
15:30	
15:40 }	6. 代表的な関数使用方法を習得する (1) VLOOKUP 関数とは (2) データ結合 (縦結合・横結合) (3) データ検索
16:10	
16:10 }	7. 演習問題
16:50	

※ 本「人材育成」セミナーへの参加にあたっての留意事項

1. 統計に関する基礎的知識をお持ちで、Windows、Excel (2007 以降) 基本操作が可能な方が対象
2. I R の業務、データ分析業務に携わる大学の教員・職員の方が対象
3. 会場設営上、使用する端末は Windows のみで、持ち込み不可
4. トレーニング充実のため、定員 15 名まで
5. 大阪及び東京とも、同内容、1 日完結の研修